

## 1 題材名

『郷土に残る城郭から考える〇〇地域』

～緑区・若葉区周辺の地域学習として～

## 2 授業のねらい

- ①千葉市内には多くの城あとが残っており、それを専門に研究する方々もいます。特に千葉市から東側の地域にははっきりわかる城あとが残っており、歴史的に重要な地域であったことがわかります。緑区・若葉区を意識した地域学習です。
- ②「自宅付近の小高い丘やちょっとした盛り土が、実は城あとだった」と知れば、興味がわく生徒がいてもいいでしょう。「ちょっとしらべてみようかな？」というきっかけにしたいと思います。
- ③「どうしてここにお城があるの?」「何のために使っていたの?」という疑問から、郷土(地元)の歴史的な存在の意味と価値を見出す、という学習です。

## 3 学習指導要領の項目、指導計画上の位置付け

◇総合的な学習において、それぞれの目標へ向けた学習の一助としての地域学習

◇1時間扱い

◇1年生 学区探検、地域訪問などの事前学習として

2年生 校外学習へのとりかかり、下準備として

3年生 修学旅行先での学習へ向けた予備知識として

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①一般的に『『城あと』として思い浮かぶものは?』という問いに答えます。(生徒は、江戸時代の近世城郭をイメージして解答すると思われます。)

< 解答例 : 天守、櫓、石垣、堀 . . . >

- ②学校(学区・地域)周辺に残る「中世城郭」の様子を写真等で確認します。

< 確認できるもの : 堀 or 土塁、住居あと、宿(場)あと、せまい、何のために? . . . >

- ③「何のために築かれたのか?」「どうしてこの場所なのか?」について地形図や古地図、写真資料などから考えます。

\* 地形図から土地の高低、傾斜、河川との距離 . . . など

\* (古)地図から街道筋、集落との距離や位置関係 . . . など

<小グループで相談しながら、確認したものを発表>

何のために? → 自分たちの土地を守る(他人が攻めてくる=それなりの良さがあるから)

どうしてここ? → 見晴らしがよい、守りやすい、交通の要衝、大切な拠点だった . . .

- ④③を踏まえて「〇〇地域が歴史的にどういう場所(重要なところ、自慢できるところ)だったのか?」を考え、自分の言葉にして表現します。

<個人で>ワークシートに記入 数名が発表>

<活用するおもな資料>

◎作成済みのP.P.資料(城郭写真、地図、等) ◎古地図、地形図(国土地理院)

◎千葉の道『千年物語』千葉日報社 ◎今昔マップ on the web など

## 5 指導上の留意点、その他

◇学校周辺の(中世)城郭跡を調査した記録等があれば、ぜひ参考にさせていただきます。

◇残っているのは中世の城跡が多く、いわゆる江戸時代の近世城郭とは異なっています。そこから、時代によって戦い方や生活洋式などが違うと気付く生徒が出てくると良いです。

◇ご家族や近隣の方などから、関連する話を事前に聞いておくよう生徒にお伝えいただくのも良いと思われます。